



株式会社不動テトラ

2025年3月期 第2四半期決算説明会

2024年11月29日

イベント概要

[企業名]	株式会社不動テトラ
[企業 ID]	1813
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2025 年 3 月期 第 2 四半期決算説明会
[決算期]	2025 年度 第 2 四半期
[日程]	2024 年 11 月 29 日
[ページ数]	38
[時間]	15:00 – 16:22 (合計：52 分、登壇：42 分、質疑応答：10 分)
[開催場所]	インターネット配信
[会場面積]	
[出席人数]	
[登壇者]	3 名 代表取締役社長 奥田 眞也 (以下、奥田) 取締役 常務執行役員 管理本部長 川地 洋治 (以下、川地) 管理本部 財務部長 北垣 大輔 (以下、北垣)

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



登壇

司会：皆様、こんにちは。それでは定刻となりましたので、ただ今から、株式会社不動テトラ様のIRミーティングを開催いたします。

今回の決算説明会は、会場に加え、ライブ配信と併せたハイブリッド形式で開催いたします。

最初に、会社からお迎えしているお三方をご紹介します。代表取締役社長、奥田眞也様。

奥田：奥田でございます。よろしくお願いいたします。

司会：取締役、常務執行役員、管理本部長、川地洋治様。

川地：川地でございます。よろしくお願いいたします。

司会：管理本部、財務部長、北垣大輔様。

北垣：北垣でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

司会：本日は、まず奥田社長様から、次いで川地取締役からお話をいただくことになっております。ご説明が終わりましたら、まず会場の皆様からのご質問をお受けいたします。こちらが一巡しましたら、今回、オンラインで参加されている方からもご質問をお受けする予定です。オンラインでご質問のある方は会社名、氏名をご記入の上、チャットにてご質問をください。ご質問は、会社様のお話中も受け付けております。

それでは奥田様、よろしくお願いいたします。

奥田：あらためまして、奥田でございます。よろしくお願いいたします。本日はお忙しい中、弊社の第2四半期決算説明会にお集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃から弊社のIR活動にご協力とご理解をいただいています。重ねて御礼を申し上げます。ありがとうございます。

本日は、第2四半期の決算説明会ということで、前半は私から決算内容等についてご説明を申し上げた後、本日、取締役、常務取締役、管理本部長の川地が出席をさせていただきます。本中計で四つ目の基本方針として、人的資本経営ということをやっております。これにつきまして、現状の状況等についてお時間をいただき、ご説明をさせていただきます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



- ・ 1 ・ 全社業績／セグメント別業績
- ・ 2 ・ 主な受注完成案件・トピックス
- ・ 3 ・ 投資の状況
- ・ 4 ・ 人的資本経営の状況

- (参考資料)
- 2025年3月期 第2四半期決算短信(連結)
 - 2025年3月期(連結)第2四半期決算補足説明資料
 - CORPORATE REPORT 2024

© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 3

それでは、ご説明に入ります前に、お手元に資料をお配りさせていただいております。本日用います資料と決算短信、それと決算短信の補足説明資料ならびにコーポレートレポート 2024 を置かせていただきました。本年の9月から今までのCSRレポートに変わりました。コーポレートレポートということで、財務情報、非財務情報、弊社の事業活動ならびに環境活動、社会活動等、ステークホルダーの皆様にご覧いただけるような形での報告書ということで発行をさせていただきました。ぜひお時間のある時に目を通していただければありがたいと思います。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

全社業績結果2Q



当社グループの業績については、受注高は、371億円(前期比8.9%増)と増加しましたが、売上高は、298億円(前期比10.8%減)と減収となり、営業利益は3.8億円(前期比74.0%減)と減益となりました。また、経常利益は6.0億円(前期比63.8%減)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は4.5億円(前期比60.8%減)とそれぞれ減益となりました。

(億円/%)	2023年度 第2四半期	2024年度 第2四半期	前期比
期初手持ち高	710	722	12.5
受注高	341	371	30.2
売上高	334	298	△36.1
売上総利益	56.0	45.9	△10.2
販売費および一般管理費	41.4	42.0	0.7
営業利益	14.6	3.8	△10.8
(営業利益率)	(4.4%)	(1.3%)	(△3.1%)
営業外収支	2.0	2.2	0.2
経常利益	16.6	6.0	△10.6
特別損益	0.2	0.4	0.2
法人税等	5.3	1.9	△3.4
親会社株主に帰属する 中間純利益	11.5	4.5	7.0



© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 5

それでは、ご説明に入らせていただきます。まず、全社業績とセグメント情報ということで、第2四半期、本年度の9月決算でございますが、前期に比べまして、見ていただきますと減収減益という形で数字上は結果が出ております。

内容としましては、受注につきましては前期に比べまして10%近く増となっておりますが、売上が10%近い減、利益もそれに合わせて、昨年と比べて減少という結果となっております。これは、後でセグメント別でお話をさせていただきますが、土木事業、ブロック環境事業については前期とほぼ変わらない形での進捗をしておりますが、地盤事業が昨年度はかなり事業の活動が旺盛で、上期からフル稼働というような状況で、売上、利益を創出してまいりました。

今期につきましても忙しい状況全く変わらない状況で、受注等も旺盛でございます。ただ、上期に船舶がほぼ動かない状況で、船舶に対してかなりの設備の投資をしてまいりました。その関係上、間接原価がかなり上期から発生しております。そういうことで、少し利益が前期に比べては少ないという結果が全社業績に影響をしております。

サポート

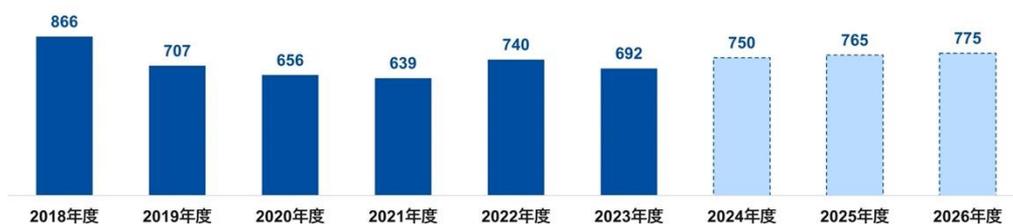
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



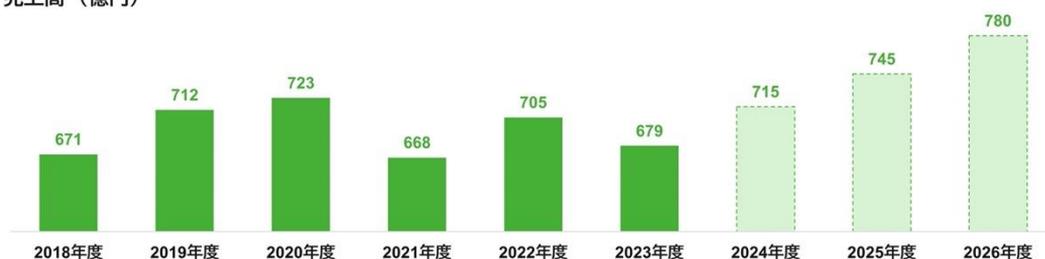
【参考】 全社 過年度推移



◆ 受注高 (億円)



◆ 売上高 (億円)



© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 6

全社の過年度の推移ですが、本2024年度につきましては、前期に比べて、現状の見通しとしては受注、売上とも前期を上回ると。

【参考】 全社 過年度推移



◆ 営業利益・営業利益率(億円・%)



© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 7

利益面に関しましても、前期は下期に土木で少し大きな工事等の中断、あるいは着工が遅れる、過去の瑕疵における引当とか、こういったものがかなり突発的に発生しましたので、少し下期に急激

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

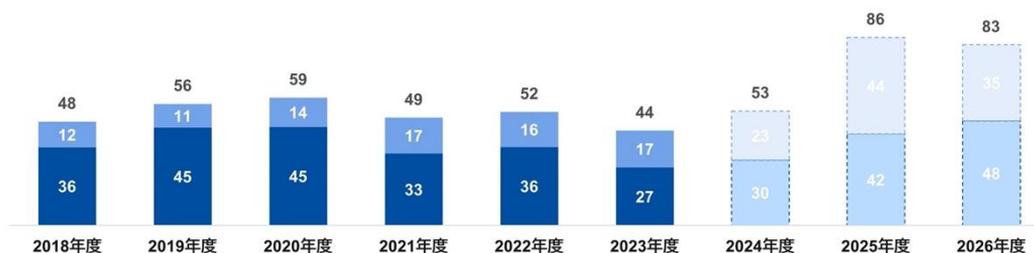


に利益が悪化しましたが、その影響を少しどこかまだ引きずっていますが、今期から少しずつ回復しますので、2024年も見通しとしては前期より増益ということで現状では見通しております。

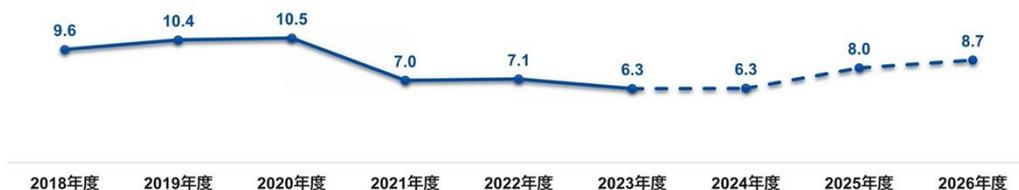
【参考】 全社 過年度推移



◆ EBITDA(営業利益+減価償却費:億円)



◆ ROE(自己資本当期純利益率:%)



© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 8

また、この営業利益と減価償却費を足した数字につきましても、今年度以降、いろいろな形での投資活動での減価償却が発生してまいります。それと営業利益を足した数字については右肩上がりで積み上がっていくと見通しております。

ROEにつきましても、2026年、3カ年目の目標を9%としておりますので、それに向かって上がっていくという見通しをしております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



【参考】 全社 過年度推移



◆ 自己資本・自己資本比率（億円・％）



◆ 配当総額・配当性向(億円・％)



© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 9

自己資本比率あるいは配当性向についても、中計の計画で発表したとおり、今もその見通しを変えておりません。

セグメント別全社業績結果2Q



(億円/%)	2023年度 第2四半期	2024年度 第2四半期	前期比
受注高	341	371	30.2
土木事業	106	109	2.1
地盤改良事業	215	253	37.9
ブロック事業	24.2	12.5	△11.6
売上高	334	298	△36.1
土木事業	137	126	△10.8
地盤改良事業	184	166	△18.1
ブロック事業	15.3	11.0	△4.3
売上総利益	56.0	45.9	△10.2
(率)	16.8%	15.4%	△1.4%
土木事業	12.9	12.5	△0.4
(率)	9.4%	9.9%	0.5%
地盤改良事業	37.8	28.6	△9.2
(率)	20.5%	17.2%	△3.3%
ブロック事業	4.5	4.0	△0.6
(率)	29.6%	36.1%	6.5%
販売費および一般管理費	41.4	42.0	0.7
営業利益	14.6	3.8	△10.8
土木事業	△0.1	△0.4	△0.3
地盤改良事業	16.5	9.0	△7.5
ブロック事業	△2.0	△1.5	0.5

※全社計には3セグメント以外の数値及び連結調整額が含まれるため、3セグメントの合算値と全社計は一致しておりません。

- 受注高
(土木)新規受注減少も繰越工事の変更増により前期並み
(地盤改良)繰越工事は前期並みも新規受注は大幅に増加
(ブロック)前期にあった馬毛島PJ向け型枠賃貸、商品販売共に減少
- 売上高
(土木)大型繰越工事の進捗遅れにより減収
(地盤改良)着工時期ずれに伴う進捗遅れや売上計上の時期ずれで減収
(ブロック)商品販売の受注減少が影響し減収
- 売上総利益率
(土木)繰越工事の変更増に伴う採算改善があり前期を若干上回る
(地盤改良)個別工事の採算性は良好も減収と間接原価増の影響で悪化
(ブロック)型枠賃貸では前期繰越増に伴う間接原価の圧縮により利益率は若干の改善

© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 10

それでは、セグメント別について、簡単に触れさせていただきます。冒頭お話を差し上げましたように、土木につきましては、現上期については昨年度とほぼ同じような形、同じ傾向で進んできて

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



おります。売上、利益もほぼ前期並み。ただ、地盤事業が昨年かなり高水準で上期終わっていますので、少し下がったように数字的には見えます。

ただ、個別の工事ごとの利益につきましては、依然高い水準をずっと維持をしております。間接原価が少し今期の上期は膨らんだということで、営業利益的にはかなり前期に比べますと見劣りしますが、しっかりそういった投資活動もできていますので、下期、来期等にまたまた伸びていくと期待をしております。ブロックも昨年並みとご理解をいただければと思います。

セグメント別全社業績通期予想



(億円/%)	2023年度 通期実績	2024年度 通期予想	前期比
受注高	692	750	58
土木事業	274	321	47
地盤改良事業	386	396	10
ブロック事業	39.6	29.0	△10.6
売上高	679	715	35
土木事業	260	314	53
地盤改良事業	391	372	△19
ブロック事業	34.5	33.0	△1.5
売上総利益	108		
(率)	15.9%		
土木事業	10.1		
(率)	15.9%		
地盤改良事業	82.8		
(率)	21.1%		
ブロック事業	13.6		
(率)	39.2%		
販売費および一般管理費	41.4		
営業利益	26.6	30.0	3.4
土木事業	△15.0	10.1	25.1
地盤改良事業	40.6	23.8	△16.8
ブロック事業	1.0	1.9	1.2

※全社計には3セグメント以外の数値及び連結調整額が含まれるため、3セグメントの合算値と全社計は一致していません。



© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 11

通期の予想につきましては、上期は実は前期に比べますと、少し数字的に減という形で結果が出ておりますが、私どもが立てています上期の計画、目標については、ほぼ利益では計画どおり推移をしてきております。ですので、どちらかといいますと、今期につきましては下期偏重、上期に間接原価等の発生が大きいということで、利益面では下期偏重というような見通しを期初から立てております。

ですので、現状の見通しとしましては、受注、売上、利益面でも前期に比べると若干ではありますけれども増収増益ということで、現時点では計画を変えておりません。見通しをしております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



事業別の状況 土木事業



受注高は、109億円(前期比2.0%増)と前期と同程度となったものの、売上高は、複数の大型工事で進捗が遅れたこと等により、126億円(前期比7.9%減)と減収となりました。利益面では、手持ち主力工事で採算性は改善方向も減収の影響により、0.4億円のセグメント損失(前期0.1億円のセグメント損失)となりました。

事業方針

長期安定性の確保(受注、利益、人員)～「守り」から「攻め」へ～

主な事業戦略

- 事業規模の拡大
- 採算性の向上
- 戦略的パートナーシップの構築
- 研究開発・設備投資
- 採用(人的投資)
- 教育
- 働き方改革

年度別数値目標・実績



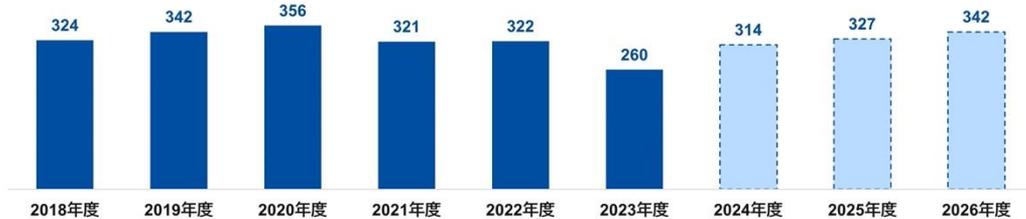
© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 12

各事業です。土木事業です。先ほどからお話ししましたように、前期も上期はある程度順調に推移をしたんですが、下期に大きな工事の中断、あるいは着工遅れ等が発生しました。それを若干今期の上期も影響を受けながらスタートをしたと。ただ、こういった大きな工事全て現時点では着工しております。ですので、下期以降順調に積み上がってくるということで、現状は計画どおりの通期の見通しをしております。

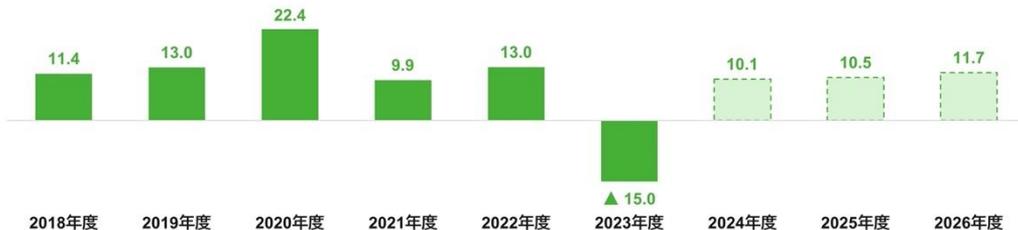
【参考】土木事業 過年度推移



◆ 売上高 (億円)



◆ 営業利益 (億円)



© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 13

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



過年度と比較しましても、大体 300 億円を超える売上を上げてきております。実は現状、手持ち工事も受注は計画どおり進んでおりますので、前期の売上がなかなか上がらなかったものですから、手持ち工事は潤沢な状況が続いております。

利益面でも昨年の影響を若干上期は引きずりましたが、その前の 5 カ年等とそう遜色ない形で年度末には積み上がってくるだろうという見通しを現在しております。

事業別の状況 地盤改良事業



受注高は、受注環境が良好な状況にあり253億円(前期比17.6%増)と増加したものの、売上高は、着工時期の遅れ等の影響により166億円(前期比9.8%減)と減収となりました。利益面では、手持ち工事の採算性は良好な状態を維持するものの着工遅れ等に起因する間接原価の負担増もあり9.0億円のセグメント利益(前期比45.4%減)となりました。

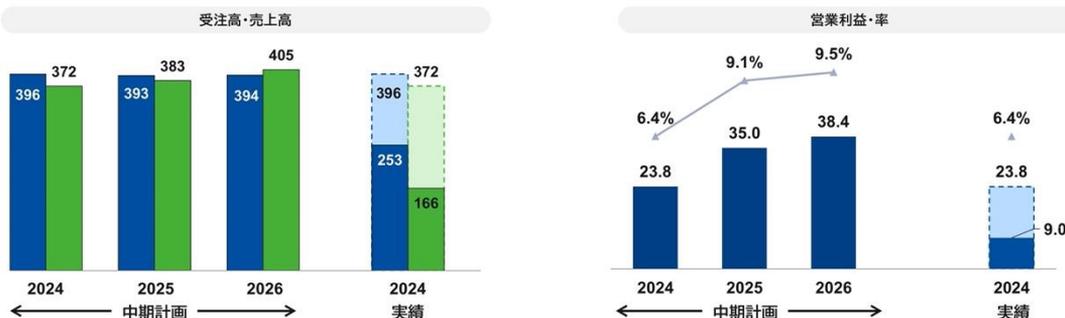
事業方針

多様化する社会的要求への対応に向け、新技術の開発・導入を軸とした持続的な事業の発展と周辺事業領域の更なる拡大

主な事業戦略

- 主力工法の改善改良による競争力アップと事業量の確保
- 海外事業の安定化
- 新技術・新工法の開発・導入による周辺事業領域の拡大
- 利益体質の更なる向上
- 人材の確保・育成と働き方改革への対応

年度別数値目標・実績



© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 14

地盤事業でございます。地盤事業は、昨年本当に 400 億円近い売上ということで、かなりの高い水準での売上と利益を創出しました。今期も現状、受注、売上とも過去に比べると、見ていただきますと、現状でも前期に比べますと少ないですけれども、高い水準です。

サポート

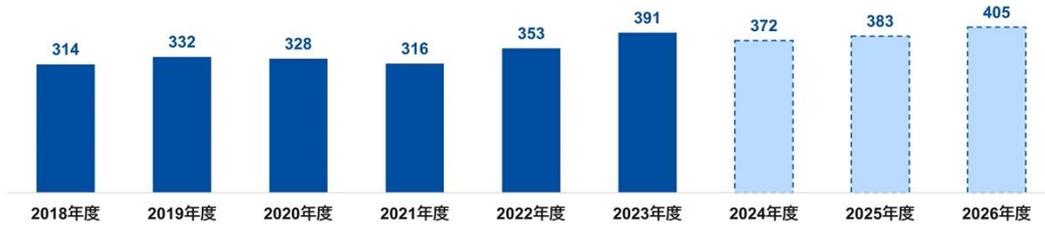
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



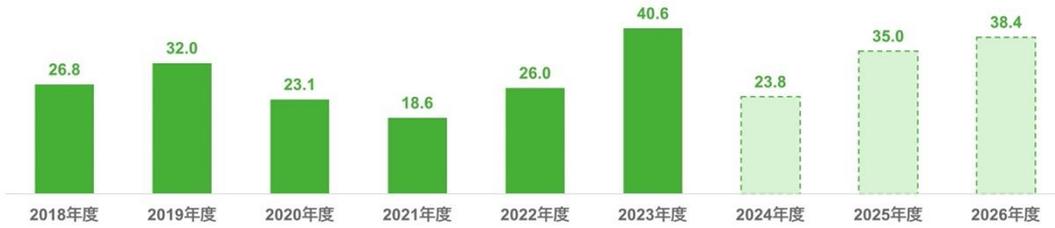
【参考】地盤改良事業 過年度推移



◆ 売上高（億円）



◆ 営業利益（億円）



© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 15

ただ、この営業利益につきましては、上期、船舶がほぼ動かず、全てリニューアルとかの投資をしておりましたので、その関係上、少し営業利益的には下がっておりますけれども、3カ年ではしっかり稼働することで積み上がっていくという見通しをしております。利益率的にも右肩上がりです。3カ年は推移するだろうという見通しを現在も立てております。

事業別の状況 ブロック環境事業



受注高は、前期にあった大型案件向け型枠賃貸、商品販売の減少により、12.5億円(前期比48.1%減)となり、売上高は、11.0億円(前期比28.2%減)と減収となりました。利益面では、主力の型枠賃貸の売上が年度後半に集中することもあり、1.5億円のセグメント損失(前期2.0億円のセグメント損失)となりました。

- | | | | |
|--------|--|---|--|
| 事業方針 | 技術に裏付けされた製品により安定した収益を図り、ブロック事業のリーディングカンパニーを堅持する
事業フィールド:「防災・減災」「環境」「海外」 | | |
| 主な事業戦略 | <ul style="list-style-type: none"> 分業別シェアの維持・拡大を図るとともに新市場へ参入し、トップシェアを堅持する | <ul style="list-style-type: none"> 収益力の向上 商品販売事業での長期的収益確保 | <ul style="list-style-type: none"> 海外展開 ESG経営を意識した企業価値向上への寄与 |

年度別数値目標・実績



© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 16

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



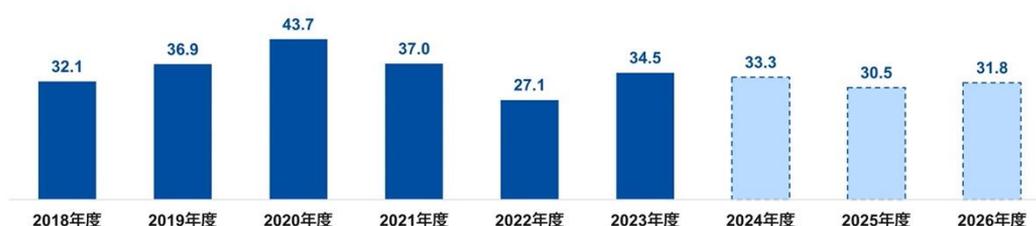
ブロック環境事業です。ブロック環境事業も、傾向としては昨年とほぼ変わらずに、何とか黒字を維持しながら少し利益率は上げていくという状況に変わりはありません。

ただ、上期だけを見ますと、やはりブロック環境事業の売上計上できる大型の型枠賃貸の売上が計上できる工事が3月末に計上できるということで、ここも上期は少し数字的に苦戦したように見えますが、後半になると集中して売上が上がってくるということで、見通しとしては昨年より若干いいような形での利益面での見通しをしております。

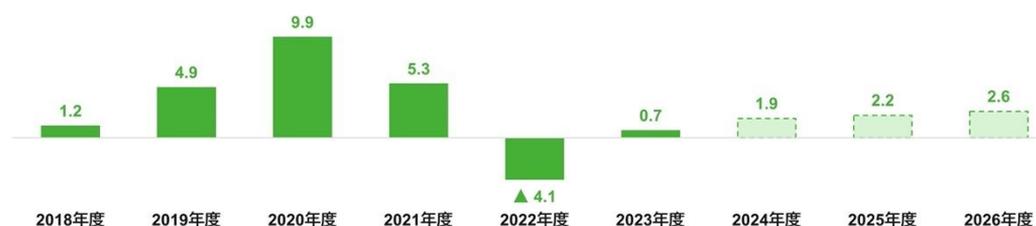
【参考】 ブロック環境事業 過年度推移



◆ 売上高（億円）



◆ 営業利益（億円）



© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 17

ほぼ変わらないような売上状況で、少し利益的には回復していくという見通しでございます。

サポート

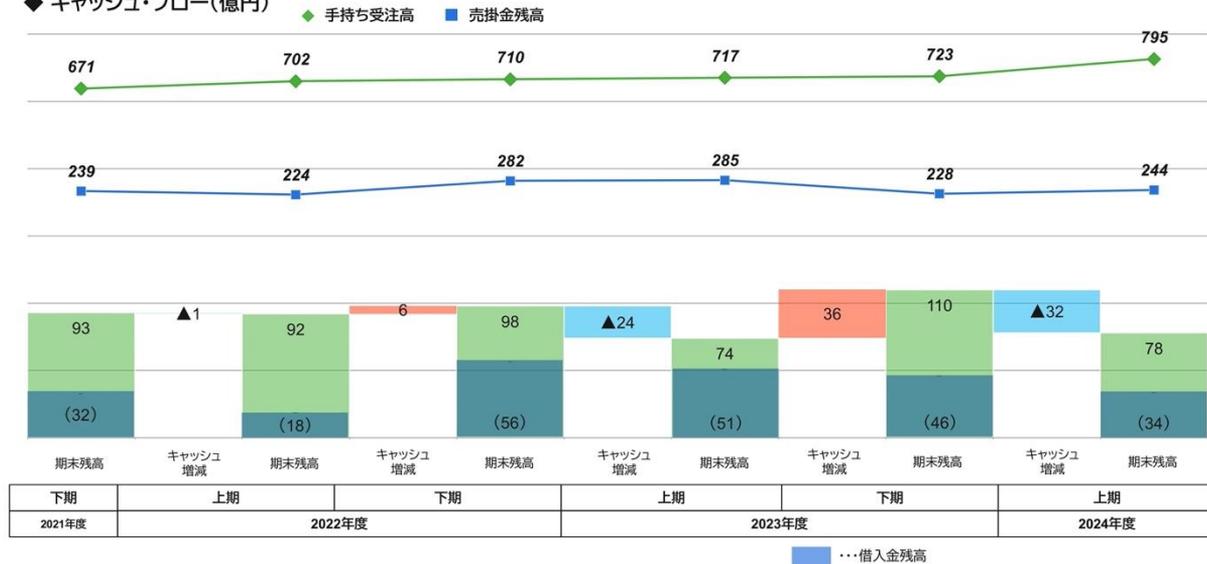
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



キャッシュフローの推移



◆ キャッシュ・フロー(億円)



© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 18

キャッシュフローですが、キャッシュフローも上期は年度末に比べますと手持ちのキャッシュは減少したように見えますが、出来高が上がって、下期に関しては前年と同じように回収が進むということで、あまり傾向としては変わらない状況は続いております。

主な完成工事と受注工事



◆ 主な完成工事

工事名称	事業主体	施工場所
R03朝霞水路2号沈砂池外耐震補強工事	(独)水資源機構(元請:株)鴻池組	埼玉県志木市
手賀沼農地防災事業 手賀第二排水機場改修工事	農林水産省関東農政局(元請:株)安藤・間	千葉県柏市
令和5年度 東海環状海洋PA地区北地盤改良工事	国土交通省中部地方整備局(元請:株)若菜建設(株)	岐阜県海津市
両部橋改築工事(下部工)(交替制)	名古屋市	愛知県名古屋
広域河川堀川改修工事(R5名城その2)(交替制)	名古屋市	愛知県名古屋
豊橋田原ごみ処理施設整備・運営事業建設工事	豊橋市(元請:渡邊・平野特定建設工事共同企業体)	愛知県豊橋市
大正区船町2丁目(F-7)堤防補修工事	大阪市	大阪府大阪市
令和4年度北九州港(響灘東地区)岸壁(-10m)地盤改良工事	国土交通省九州地方整備局(元請:五洋建設(株))	福岡県北九州市

◆ 主な受注工事

工事名称	事業主体	施工場所
仁井田浄水場整備事業	秋田市(元請:鹿島建設(株))	秋田県秋田市
令和5年度東京国際空港西側貨物地区エプロン地盤改良工事	国土交通省関東地方整備局(元請:東洋・りんかい日産・本間特定建設工事共同企業体)	東京都大田区
新発田地域広域事務組合新庁舎新築工事	新発田地域広域事務組合(元請:新発田建設(株))	新潟県新発田市
R06長沼地区河川防災ステーション地盤改良その1工事	国土交通省北陸地方整備局(元請:株)北條組	長野県長野市
名古屋本線等 知立駅付近連続立体交差事業に伴う本線土木(その13)工事	名古屋鉄道(株)	愛知県知立市
京都舞鶴港物流基盤重点整備事業	京都府(元請:大本組・大進工業JV)	京都府舞鶴市
神戸複合産業団地南地区造成工事(その2)	神戸市	兵庫県神戸市
水洗排水処理Ⅱ期設備土建工事 他	UBE三菱セメント(株)	山口県宇部市の山

© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 20

受注、完工について、上期だけですがトピックスとして少し載せさせていただいております。完成工事、土木の工事がなかなか5年、6年と工期の長い工事をかなり抱えておりますので、売りが

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



ったと、全て終わったという形でなかなかご報告するのは、どうしてもこういった自治体、名古屋市さんだったり、大阪市さんだったりの自治体の、少し小さめといたしますか、規模感の小さな工事が売りが上がってきていると。

それに引き換えまして、地盤事業につきましては、当然弊社の施工が終われば売上計上ができますので、例えば響灘の洋上風力の基地港の地盤改良とか、特徴のある工事が売りが上がってきております。

受注につきましては、土木事業に関しましては、今期上期は名古屋鉄道さん、名鉄さんの高架事業の、知立駅の高架事業、これも民間の工事として受注。あるいは、UBE 三菱セメントさんの宇部工場のお仕事といった具合で、民間のお仕事を受注することができています。

地盤改良につきましては、羽田空港のエプロン、あるいは秋田の浄水場、ほとんどかなり大きな工事、陸上の地盤改良ですが、こういったものを受注してきております。

また、能登半島地震における災害復旧、復興工事がかなり出件をしてくれております。今後、受注につながっていくのですけれども、その前に、これ実は長野県ですけれども、これも防災ステーションという形で地盤改良工事を受注してしております。

トピック 土木事業



広域河川堀川改修工事(R5名城その2)(交替制)が完成

名古屋城近辺の堀川上流部における護岸の耐震改修工事が完成しました。名古屋市は平成22年より概ね30年間にわたり堀川における河川整備計画を実施しており、当社はこれまで複数の工事に携わってきました。

本工事は、護岸に名古屋城外堀の石垣をイメージした御影石の残存化粧型枠が用いられています。また、施工箇所の護岸背後には名古屋城をイメージしたホテルが建設されており、周辺の街並みや建造物と調和したものとなっています。狭陰地での作業となりましたが、安全と周辺環境に配慮しながら施工し、無事に工事を終えることができました。これからも歴史とともに歩み、人々の暮らしを守るまちづくりに貢献し続けます。



事業主体 名古屋市緑政土木局
施工場所 愛知県名古屋市

© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 21

完成工事のトピックスとしまして、名古屋市の河川改修の完成した工事。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



第26回国土技術開発賞にて優秀賞受賞

「地盤改良工法の自動打設システム～GeoPilot-AutoPile～」

地盤改良工法の自動打設システムであるGeoPilot-AutoPileが第26回国土技術開発賞にて優秀賞を受賞いたしました。
 この技術は、地盤改良工法の施工機械にコントロールユニットを搭載することで、オペレータが手動で操作していた地盤改良の打設操作を自動化することを可能とした技術です。コントロールユニットにより状況に応じた適切な機械制御を行うことで、打設操作の簡素化、習熟期間の短縮、安定した品質供給、安全性の向上をもたらします。
 少子高齢化に伴い、地盤改良工のオペレータの担い手不足が懸念される中、本システムが安全で快適な労働環境を提供し、若い世代が活躍できる建設現場を目指します。

※「国土技術開発賞」とは、技術開発者に対する研究開発意欲の高揚並びに建設技術水準の向上を図ることを目的として、建設産業に係わる優れた新技術に対して国土交通大臣が表彰するものです。



⇨第26回国土技術開発賞
優秀賞受賞の様子



事業主体 国土交通省関東地方整備局
 施工場所 茨城県潮来市築地地先

© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 22

そして地盤としましては、第26回の国土技術開発賞で優秀賞を受賞して大臣から表彰を受けております。この内容は、自動打設システムということで、近年、自動化施工ということで、われわれも地盤改良につきましては、当然自動化においては先駆けて開発を進めております。将来的には、人は全く違う場所で、無人でこういった大型の機械が動くということまでたどり着くべく、現在も開発を進めています。その中間段階で、かなり自動化が進んでいるということで表彰を受けております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

釧路港エコポート事業における「ケルプエックス」の採用

近年、地球温暖化問題の解決や海洋資源の保全に寄与するとして、ブルーカーボンが世界的に注目されています。

北海道開発局による「釧路港エコポート事業」では、多様な海藻類や魚介類の生息を目指し、当社のエクスブロックの上面にケルプノブを設置した「ケルプエックス」が採用されました。「ケルプエックス」を防波堤の陸側の浅場に設置することで、コンブやアラメ、カジメ等のコンブ科海藻が着生しやすい環境を創出し、生物によるCO₂の吸収が期待されます。

今後とも国や地方自治体と連携し、ブルーカーボンによる脱炭素社会の実現に貢献します。



※ケルプノブは勅電力中央研究所が開発したコンブ科の海藻が着生しやすい形状をした付着基盤です。

事業主体 国土交通省北海道開発局 釧路開発建設部
施工場所 北海道釧路市

© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 23

これは、ブロック環境事業の弊社が保有していますエクスブロックに少し電中研で開発されたものを上に付けることによって、藻とか、そういったものがたくさん張り付いて育つというような形でのブルーカーボン、こういった事業で採用いただいて、北海道で受注をしております。

総合技術研究所が土浦市立真鍋小学校で防災教育の出前授業を実施

9月6日(金)、土浦市立真鍋小学校の6年生を対象に出前授業を実施しました。この授業は、学校が定める「防災の日」の防災教育の一環として、土浦市教育委員会から当社に依頼されたもので、民間企業への依頼は今回が初めてのことです。当日は、学校側の都合により、2クラス同時に別々の教室で授業を行う必要があったため、所員6名で対応しました。

授業では、まず日本が世界でも自然災害が多い国であることを、クイズ形式で学んでもらいました。次に、国内で実際に発生したさまざまな自然災害の事例を紹介しながら、防災活動の重要性を覚えてもらいました。そのうえで、防災活動には多くの種類があり、その中で自分ができることを「今すぐ」実践することが大切であると伝えました。

後半では、班ごとにテラボット模型を積み上げる体験を通じ、楽しみながら沿岸防災に触れる時間を設けました。

研究所では、今後も子どもたちへの防災教育や当社への関心につながる活動を継続してまいります。



© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 24

あと、社会活動ということで、最近はこちらかといいますと防災教育ということで、各学校にお邪魔して、事業をさせていただくというケースが増えてきております。

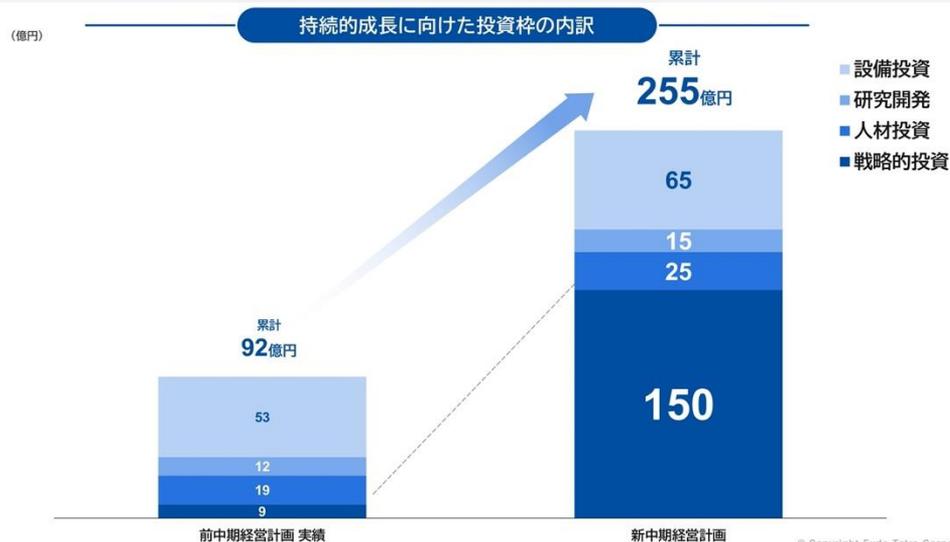
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

新規事業の創出と事業領域の拡大



新中期経営計画では255億円へ拡大投資を行う。※前中期経営計画での投資額92億円
特に、新規事業の創出と事業領域の拡大を目指し、**戦略的投資として150億円** の予算枠を設定した。

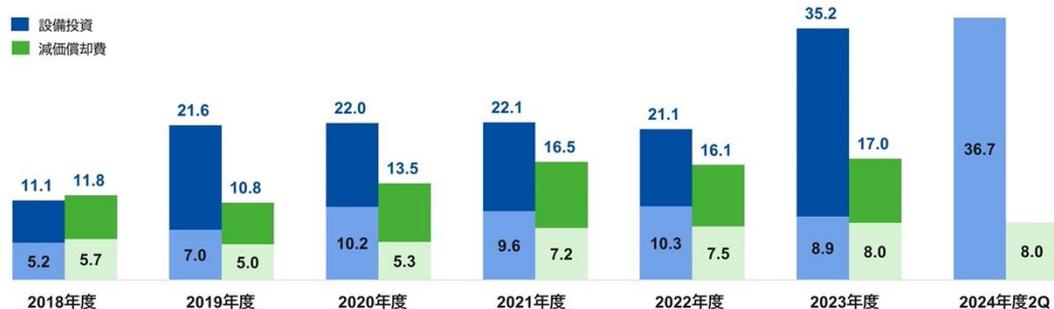


投資の状況です。積極的にいろいろな面で投資活動をしてきております。これは中計で掲げました。5月にもご説明をさせていただきました投資枠の内訳でございます。

設備投資①



◆ 設備投資 (億円)



2024年度上期の主な設備投資

土木事業	浚渫兼起重機船
地盤改良事業	大阪機械センター耐震化、SCP船改良、超小型施工機DHJ30
ブロック事業	型枠・部品、型枠業務システム更新
総合技術研究所	フォークリフト
その他	業務系仮想サーバー更新

© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 27

現状、年度別に示しておりますが、今年度も積極的な投資活動をするということで、土木は浚渫を兼ねた起重機船、これは、実はきょう新聞に掲載をいただいておりますが、今週に進水式を相生で行いました。3月、4月の完成を目指して現在鋭意努力をしております。

サポート

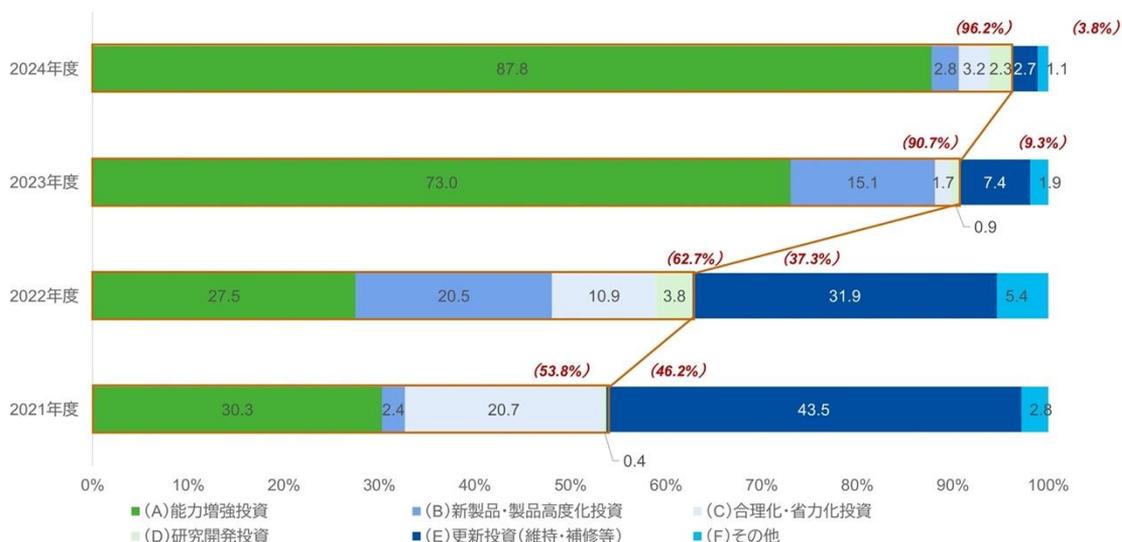
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



また、地盤改良では SCP 船の改良、あるいは休船しておりました船舶を稼働させるということで、戦略的にこういった大きな投資も進めてきております。

設備投資② FUDO TETRA

◆ 設備投資の目的区分 (単位:%)



© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 28

見ていただきますと、2021年度では一番大きなウエートを占めていたのが、もともと持っていたものを更新する設備投資がメインでした。それがここ数年、能力増強とか、新製品、新しく開発したものへの投資ということで、戦略的な投資の割合が大きくなってきております。

24年度では、能力増強の投資がもう90%に近いということで、将来への受注を目指す、あるいは現在での受注活動で差別化を図るといった意味での投資が増えてきております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



◆ 研究開発（億円）



	主な取り組み状況
総合技術研究所	グリーンインフラを用いた海岸保全技術の研究 環境配慮型コンクリートによるブロック製作技術の開発 3Dプリンタを活用した建設技術の開発
土木事業	ICT技術の開発 総合評価技術提案の強化のための調査研究 土壌浄化技術の開発
地盤改良事業	砂杭工法の技術深化 CI-CMC、PJ、FTJ工法の技術進化 SAVEの自動化施工、及び省人化施工の開発 カーボンニュートラル対応技術の開発
ブロック事業	消波工におけるDX化 ブルーカーボンに関する研究

© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 29

研究開発も同じように年々右肩上がりで、新しい技術開発等に取り組んできております。本年も上期でほぼ半分近い技術開発の研究にも資金を投入しております。内容としましては、地盤改良ですと自動化もそうですし、あとブロック環境と地盤改良ではグリーンインフラや、あるいはカーボンニュートラルといったところの研究開発も進めてきております。

今年度より総合技術研究所を独立した組織ということで、事業から少し離れたところで自由な投資と、自由な研究開発への発想という意味でも大きな組織にしましたので、近い将来必ず成果が出てくると期待をしております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

主な投資 浚渫兼起重機船(押航式)「FT400」



海洋インフラの再構築に向け新機能を搭載し環境性能を向上した浚渫兼起重機船(押航式)「FT400」を造船中 2025年3月完成予定

【FT400完成イメージ】



さまざまな海上プロジェクトへの浚渫兼起重機船の参画に向けて積極的な営業を展開していくとともに、災害発生時において対応が可能な機能を装備することにより、被災地の災害支援活動に役立ちたい

主要機能

船体寸法	全長:68.5m 幅:25m 深さ:4.5m
最大吊能力	400t
最大積載荷重	4,011t
喫水	軽荷喫水1.314m 満載喫水3.747m
総トン数	2,033t
DPS	4台、推力約2TON DPS-CLASS1
蓄電システム	蓄電容量450KWh
スバッド装置	□1,300×28.5m 2本

新機能・新設備

[新機能1]	DPS(Dynamic Positioning System) アンカーレスでの作業や自動船位保持・移動が可能です。
[新機能2]	AI航行支援システム 海上衝突防止および監視業務低減により安全性の向上と省人化を可能にします。
[新機能3]	無線ウィンチ 無線ウィンチにより省人化・安全性の向上を図ります。
[新機能4]	ハイブリッド蓄電システム・陸上電力供給システム 発電機の少量化、夜間および作業休止時の発電機稼働時間を削減できCo2発生量を削減します。
[新機能5]	電動スラスター 蓄電システムと併せて余剰電力を有効活用し、Co2発生をゼロにします。
[新設備1]	女性専用室 女性職員や女性船員の乗船に配慮しています。
[新設備2]	避難所設備 船倉の一部(約100m2)を災害時の避難所に即時変更可能な設備としています。

© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 30

先ほどお話をしました、船舶の完成図です。現時点で考えられる新機能をほぼ搭載していると自負をしております。万が一にこの船が近くにいる、その近辺での災害が緊急に発生したときには、この船舶の中に緊急避難していただけるような、船の中にそういうスペースも設けることにもいたしました。

また、CO2の発生を極力下げるといった装置も装備しております。また、アンカーレスで現地に留まって作業できるという形の新しい装置も付けさせていただいております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



主な投資 地盤改良事業展開への投資



地盤改良事業では、時代のニーズに応じた地盤改良の技術開発、設備投資、人的投資を行っています。

新工法の開発

「リソイルPro工法」用機械への投資



ICT施工の推進

GeoPilot®-AutoPile (ジオパイロット・オートパイル) 地盤改良工法の自動施工システム への投資



施工力を支える設備への投資

■大阪機械センターのリニューアル
東京機械センターに続き、大阪機械センターの耐震化を含めた機能強化のための建替えを実施します。ICTを取り入れた在庫管理システムなど、作業環境の向上も図ります。

■施工機械の戦略的更新
市場の動向を調査したうえで、毎年複数台の機械の入れ替えを実施しています。将来の需要を見込み、海上作業船のリニューアルにも取り組んでいます。



東京機械センター 2022リニューアル



SCP船リニューアル

新車 小型陸上施工機械

© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 31

地盤事業では、もう新工法の開発、自動化に向けた開発、それと休船しておりました船をリニューアルして、既に舞鶴港等に投入をしております。これは船を増やすことによって弊社の受注が増えると、当然利益も増えるという意味での投資になります。

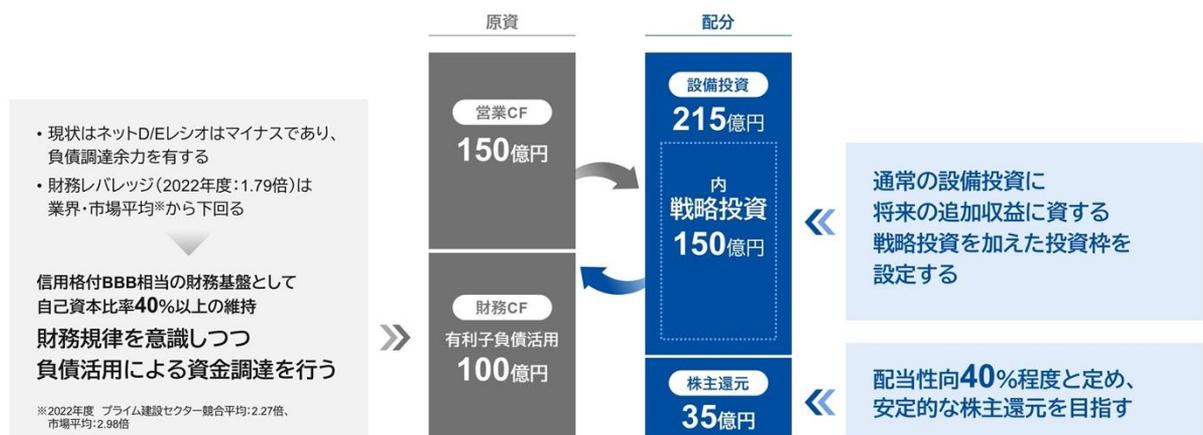
あと、東京機械センターをリニューアルしましたが、今年度より大阪の機械センターを、耐震化を含めてリニューアルをさせていただいております。

戦略的投資(資本コストを意識した経営の実践)



キャッシュ・フロー・アロケーション方針 「成長投資と株主還元の両立による企業価値の最大化」
営業活動により創出したキャッシュに、積極的に負債を活用して、戦略的投資を行う。

アロケーションイメージと各取り組み



© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 32

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



あくまでも営業活動で得たキャッシュでの投資だけでなく、少しお借りしながら、負債を利用しながら、しっかり投資活動をしていきたいということで、この3カ年に取り組んでおります。

駆け足になりましたが、決算内容と上期の状況について、私からご説明をさせていただきました。では、引き続きまして、川地と交代をさせていただきます。



・ 4 ・

人的資本経営の状況

- 人的資本投資
- 人的資本経営の推進体制
- 必要な人材の確保と育成
- 多様性の推進
- 健康経営
- ウェルビーイング・エンゲージメントの追求

© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 33

川地：管理本部長を務めさせていただいております、川地でございます。私から、人的資本経営の状況について、ご説明を差し上げたいと思います。この目次に従ってご説明をまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



従業員の働きやすさ(ウェルビーイング)、働きがい(エンゲージメント)を追求し、魅力ある会社、選ばれる会社の実現。人材採用、人材育成、最適配置を通じて、人的資本の最大化、企業価値の向上を目指す。

— 新中期経営計画では、これまで実施してきた各種施策の分析、改善を通じて、経営戦略と連動した人事戦略の構築を図る —



© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 34

まず、当社は現行の中期経営計画において、初めて人的資本経営の推進ということを掲げさせていただきます。当然これまでも人事施策としてさまざまな施策を展開したわけですが、人材につきましては、労働力という資源から、価値を生む資本ということに発想を転換いたしまして、積極的に投資を進めていくということを宣言いたしております。

ここに書いてございますとおり、人材採用、人材育成、最適配置を通じて、人的資本の最大化を図り、それを通じて、最終的には企業価値の向上を目指すという方針でございます。従業員の働きやすさ、働きがい、これを追求して、魅力ある会社、選ばれる会社でありたいという強い思いでこの方針を示しております。

社員や家族は無論のこと、私どもの社員になり得る学生とか、その親御さんからも選ばれる、あるいは魅力のある会社でありたいとも思いますし、さらには人的資本の充実、活用を通じて、お客様、取引先、あるいは投資家や株主の皆さんからも、魅力ある会社、選ばれる会社という会社でありたいという思いで、この方針を立てたわけでございます。

三つの柱を掲げております必要な人材の確保と育成、人材の最適配置と活用、ウェルビーイングとエンゲージメント向上ということでございまして、この三つの施策を展開することによって、従業員の満足度、生産性、収益力、会社としての魅力度、これを上げまして、究極の目標である企業価値の向上を上げていきたいという考えでございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

経営理念といたしまして、「豊かで安全・安心な国土づくりに貢献します」「世代を超えて生き続ける独自の技術を提供します」ということを経営理念のミッション、ビジョンとして掲げておりますので、それを支える人材、そのプロの集団をつくっていくという意味で、わが社の根本になるような、そういうところかなと思っております。

人的資本投資



(百万円)	中期経営計画			
	2024年度	2025年度	2026年度	
新卒採用 (人数)	109 (23)	344 (40)	602 (40)	1,055 (103)
中途採用 (人数)	137 (17)	265 (16)	393 (16)	795 (49)
人材育成	43	45	45	132
処遇改善	179	107	127	413
その他	9	27	22	58
合計	477	788	1,188	2,453

持続的成長に向け、事業価値を向上させるためには、人材への投資(量と質)が不可欠です。

① 採用状況

各事業本部では、施工管理社員や有資格者の不足が課題。2025年の新卒採用目標は40名。現時点での内定者数は技術系28名、事務系5名の計33名であり、採用活動を継続しています。
※内定者数は、2024.10.1時点

中途採用については、2023年度に技術・技能系6名、事務系6名の計12名を採用しました。

2024年度中途採用状況:9月25日時点で技術系6名、事務系1名の計7名が入社しており、10月1日以降も入社予定者が内定。
今後も厳しい市場環境が続く見込みだが、採用施策の検討と拡充を予定しています。

② 人材育成

人材育成では、若手社員のスキルアップが重要な課題。次世代リーダーの育成や若年層向けの研修を継続し、世代間のギャップ解消や目的別教育も行う予定。また、スキルアップを目的とした選抜型研修の拡大も計画しています。

© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 35

続きまして、人的資本投資でございます。中計を策定する段階におきまして、人的資本投資の計画も併せて策定したところございまして、このような内容で新卒採用、中途採用、人材育成、処遇改善、その他ということで分けをいたしまして、3カ年の定量的な数値の計画を立てたわけでございます。現在、これに沿って投資を進めてっております。

今後、環境の変化に応じて投資の内容、金額を多少増減することもあろうかと思っておりますが、今後もこの計画に沿って投資をしてまいりたいと思っております。

足元の状況を若干ご説明しますと、採用の状況につきましては、25年度の、ここ24年度はもう終わっておりますので、25年度を今、採用活動をやっておりますが、足元で33名の内定という状況でございます。中途採用につきましては、24年の中途採用、まだ中間期でございますが、17名に対して7名の入社というところでございます。今後も厳しい市場環境が続く見込みでございますけれども、採用施策の検討と充実をしてまいりたいと考えております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



人的資本経営を推進するため、人的資本に係るガバナンス、検討・推進体制を整備、運用しています。

◆会議体

- 取締役会(取締役)
 - ・ESG経営・人的資本経営の基本方針の決定
 - ・役員的人事・報酬の決定
- サステナビリティ委員会(取締役、その他の役員) ※2022.4.1設置
 - ・サステナビリティの基本方針の審議・決定
- 指名・報酬諮問等委員会 (社外取締役、社長) ※2016.6.23設置
 - ・取締役人事・報酬の答申、社長、取締役の後継者計画の審議
- 人事委員会(社長、各本部長)
 - ・執行役員、幹部社員人事
- 人材開発協議会(各本部長、人事部長) ※2021.1.22設置
 - ・管理職の任命・後継者選抜・育成
 - ・昇格・昇進、人事評価制度
 - ・その他人材育成

◆組織

- 人事部
 - ・人事課
 - ・人材開発課
(2023.4.1改組)
 - ・ウェルビーイング推進課
(2024.4.1改組)
- 事業部門を超えた組織横断のWG
 - ・人事関連の共通課題(採用、教育)の検討

© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 36

人的資本経営を推進する体制でございます。人的資本に関わるガバナンス体制、あるいは人的資本に係る施策を検討実施していく、その推進体制を整備して運用しております。時代に応じて、適宜必要な改組も行ってきておるところでございます。

取締役会、サステナビリティ委員会、指名報酬諮問委員会、人事委員会、人材開発協議会、それぞれのメンバー、取締役、社外取締役も入っていただいたような委員会もございます。こういった役割を担って、ガバナンスという点でしっかりとモニタリングをしながら、組織といたしましては、事務局である人事部、これも従来人事課のみであったわけですが、ここに人材開発課、ウェルビーイング推進課、時代とともに改組も進めまして、また人事部門だけに閉じないように、事業部門を超えた横断のワーキンググループをつくりまして、人事関連の共通の課題を、特に採用とか教育でございますけれども、進めていきたいと考えているところがございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

必要な人材確保と育成 -人材確保-



新卒採用の他、中途採用、外国人採用等、幅広く採用しています。

◆新卒採用入社実績



2025入社内定者 33名 ※2024.10.1時点

◆中途採用

今年度から、「エリア総合職」採用を、施工管理職に導入しました。

-----<実績>-----
 2024年度 7名 (中間実績)
 2023年度 12名
 2022年度 15名
 2021年度 10名

◆リファラル採用制度の導入

自社の企業文化や組織風土・業務内容等を効果的に伝え、つながり意識をもって意欲的に働く人材を採用することを目的に、社員が入社希望者を紹介する制度を、2023年度に導入しました。

◆ジョブ・リターン制度の導入

自結婚や配偶者の転勤、就学や健康上の理由で退職した当社元社員に、就業機会提供を目的として、2021年度に制度を導入しました。

© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 37

続きまして、柱の第1番目の、必要な人材の確保と育成、人材確保でございます。新卒採用の他、中途採用、外国人の採用等、幅広く採用をしておるところでございます。

実は当中計の前、前中計、その前の前々中計ということで、この三つの中計は連続した中計ということで、10年前に、2017年頃に、10年後のあるべき姿を描いて、継続して各種の施策を展開しているところがございます。人事面におきましても17年当時、10年後の成り行き的人员規模とか人員の構成を見まして、将来あるべき姿とのギャップを見定め、そのギャップを埋めるために、長期の要員計画というのを策定しまして、それに沿って35人から40人の採用を、うちの規模に比べますと少し多めに採用をしてきたところがございます。

前中計でございます、21年から23年はここに記載のとおり、41、36、34ということでございます。目標40のところございましたので、若干の目標未達ですが、3カ年で111名ということになろうかと思えます。その前の中計は115名でございました。今中計、2024年以降の現行中計では103名の計画でございますが、24年は残念ながら25人ということで、40人の計画に対して25人ということで、大幅な未達でございます。先ほど申しましたとおり、25年度入社の中の今の内定状況は33名ということで、若干回復をしているところがございます。現状も今まだ採用を続けておるところでございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



中途採用でございます。実績につきましてはここに記載のとおりで、21年から23年まで、10名、15名、12名と採用を続けてきております。現行中計では49名の計画数値でございます、今、24年の中間期では実績7名というところでございます。

採用活動の強化ということで、制度の工夫もいろいろしてございまして、例えば中途採用につきましては、エリア総合職を施工管理職に設けまして、募集を今しているところでございます。地域が限定された施工管理職というのも初めてトライをしているところでございます。

また、入社希望する方を社員から紹介していただいく制度、リファラル採用制度、これも2023年に導入いたしましたし、何らかの事情で当社を辞められた方が再び当社に入社していただく、復帰いただくというようなジョブリターン制度も2021年に導入をいたしまして、徐々にではありますませんが成果が表れつつございます。

必要な人材確保と育成 -人材育成-

◆教育研修制度

階層別教育や目的別教育など、若手社員から管理職まで幅広い階層向けの研修を実施。各事業部門では、若年層の技術力向上を重視した研修を展開。土木施工管理技士や技術士などの資格取得支援も積極的に実施。




全社教育研修体系

	入社10年程度まで		昇格者	管理職
階層別教育	新入社員研修 ・導入研修 ・フォローアップ研修	入社3年目研修 若手社員研修	初級マネジメント研修 (昇格者研修)	所長研修
	入社2年目研修	次世代リーダー研修	中級マネジメント研修 (昇格者研修)	管理職研修 役職研修
目的別教育	OJTトレーナー研修	健康管理研修	コンプライアンス研修	
	内定者教育	語学研修	eラーニング研修	
技術教育	新入社員特別技術研修	土木施工管理技士取得支援	ICT研修	
	若手社員技術研修(2~6年目)	技術士取得支援	職長・安全衛生責任者教育	

◆社会人ドクター取得支援制度

国内の各大学等で高度な専門知識と広い視野を身につける「社会人ドクター取得支援制度」を導入しています。地盤事業やブロック環境事業を中心に、大学院での博士号取得を目指すほか、受託研究生として大学や研究機関への派遣などを行っています。



人材の育成でございます。不動テトラの人材育成方針といたしましては、不動テトラが求める人物像を明確にいたしまして、あるべき人材像の育成に向けて、教育研修体系を整備いたしまして、毎年その内容を見直しながら研修計画を策定して実施をしているところでございます。これが体系でございます。

教育研修制度につきましては、中堅社員が少ないという人員構造上のひずみがございまして、そこでいかに若手社員を効率的、有効に教育していくかということが経営上は極めて重要な課題となっ

ておりまして。特に若年層の育成、継続的な育成には力を入れております。ここを見ていただきますと、10年目社員については手厚く階層教育をしているところでございます。

また、建設会社でございますので、技術教育というのも重視しているところでございまして。例えば資格取得ということで、1級土木施工管理技士の特別な研修プログラムを用意いたしまして、研修を実施したり、あるいは資格支援の奨励金制度を設けまして、専門能力を身に付けさせるということを奨励しております。

また、技術研修ということで、構造材料とか、土質とか、港湾基礎、杭基礎などの技術の研修も併せてしておりますのでございます。特にここにも書いてございますがICT教育です。建設DXということの推進に向けまして、GNSSとか、デキスパートの教育であるとか、ドローン点群データの活用等の操作研修とか、そういったものも実施しているところでございます。

また、社会人ドクター取得支援ということで、博士号の取得を支援するとともに、受託研修生として、大学や研究機関へ派遣などを行って、大学との共同研究であるとか、あるいはリレーシヨンの強化ということも図っているところでございます。

2023年度は延べ研修時間1万8,000時間を超えまして、1人当たり約20時間というような研修時間でございました。引き続き、教育研修については頑張っていきたいと思っています。

多様性の推進 – 多様な人材 –



性別や国籍を問わず、新卒・キャリアともに適性や能力を重視した採用の実施

◆多様な人材

女性社員の
割合
12.5%

定年後の
再雇用率
84.6%

外国籍
従業員の割合
(定期採用)
2.9%

中途採用率
26.8%

◆シニア層社員の活躍

定年を65歳に引き上げ、再雇用制度を拡充することで、シニア層社員が技術を次世代に伝えながら活躍しています。

◆外国人採用実績(新卒、中途)2020~2024年度 ~技術系社員として、設計、施工、研究職として入社~

年度	人数	国
2020年	1	バトナム
2021年	2	中国、マレーシア
2022年	1	中国
2023年	2	イラン、ミャンマー
2024年	2	タイ、バングラデシュ

◆中途採用者の活躍

中途採用者 リーダー層の割合 **15.5%**

© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 39

多様な人材というところでございます。ここを見ていただけますように、女性社員の採用も強化してまいりましたので、割合としては12.5%、定年後の再雇用率、65歳に定年を引き上げておりま

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



すが、その後、継続して再雇用される方が84%いらっしゃるということでございます。できるだけ施工部隊を中心に残っていただくようお願いをしております、特に次世代に技術を承継していただくという役割を担っていただいております。

また、外国人の採用も進めておまして、定期採用に占める割合が2.9%、中途採用も、先ほど言いましたように、わが社の人員構成の是正をするためには非常に有効な手段でございますので、力を入れているところでございます。

外国人採用につきましては、毎年1名から2名、さまざまな地域から採用させていただきまして、設計、施工、研究職として、活躍をいただいているところでございます。

多様性の推進 - 女性活躍 -



女性も活躍できる働きやすい雇用環境整備

◆女性の活躍推進

女性社員の割合	女性技術者の割合	女性役員数の割合	女性管理職の割合
12.5%	19.6%	6.9%	3.7%



「えるぼし」に認定

「女性も活躍できる働きやすい雇用環境を整えることで、男女を問わずすべての社員が能力を十分に発揮し、いきいきと働ける企業となること」を目指し、取り組みを進め、2021年4月に「認定段階3(3つ星)」の認定を受けました。

女性技術者の育成

女性技術者同士の交流、活躍支援のため「女性技術者会」を組成、活動を支援しています。女性としての働き方、キャリアなど課題解決のための意見交換や日建連のけんせつ小町委員会活動と連携した取り組みをおこなっています。



© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 40

女性活躍ということでございます。女性も活躍できる、働きやすい職場環境、雇用環境を整備して、女性にも活躍いただくということに力を入れております。女性の技術者、今19名、年度末で19名、今22名でございますけれど、こういった技術者の会というのを設けまして、女性技術者同士の交流であるとか、女性としての働き方、キャリアなどの意見交換など、悩みなども共有しながら、ネットワークづくりをしております。

また、日建連の、けんせつ小町委員会の活動とも連携して、例えば快適な女性トイレとか、更衣室の設置などの取り組みもここで行っております。この写真は、たまたまわが社の社外取締役、大沢社外取締役であります。東京大学の名誉教授でジェンダー論もご専門の先生でございますが、女性

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



活躍の課題と称して、講演をしていただいて、その後、女性の技術者の方たちと意見交換、交流を行ったという写真でございます。

このような取り組みを進めておりまして、えるぼしも 21 年 4 月に認定段階三ツ星と、3 というところで認定を受けております。

多様性の推進 – 多様な働き方 ワークライフバランス –



働き方改革など、多様な働き方を支える制度を拡充し、会社の成長と企業価値向上を目指しています。社会環境や社員ニーズに応じた規程改定など適時実施

◆労働時間の適正管理 – 時間外労働の上限規制対応 –

時間外労働時間(平均/月)

2021年度 (76期)		2022年度 (77期)		2023年度 (78期)		2024年度 (79期)
上期実績	年間平均	上期実績	年間平均	上期実績	年間平均	上期実績
27.0	26.9	24.9	25.7	23.3	23.7	19.9

有給休暇取得率(%)

2021年度 (76期)	2022年度 (77期)	2023年度 (78期)
55.8	60.9	62.0

◆多様な働き方の選択

育児・介護支援、在宅勤務、時差出勤、短時間勤務、地域限定職、シニア再雇用など

© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 41

多様な働き方、ワークライフバランスということでございます。時間外労働の上限規制ということもございまして、2018 年から私どもは働き方改革ということ、推進体制を設けまして、着々とそれに向けて進めてきたところございまして、現在、上半期のところで、平均の残業時間が 20 時間を下回るのところまで来ております。

また、有給の取得率も徐々に上がっておりまして、62%というところまで来ております。その他、多様な働き方を選択できる制度を設けておりまして、育児、介護支援のために、ちょっと述べますけれど、そういった働き方もありますし、それ以外にも在宅勤務、時差出勤、短時間勤務、地域限定職、シニア再雇用なども設けておるところでございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



◆育児・介護支援

育児や介護と仕事の両立を支援するため、法定を上回る支援や制度を導入し、その多くは小学校6年生まで利用可能となっています

◆育児休業取得状況

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度※
男性	25.0%	107.7%	64.3%	112.5%
女性	100.0%	100.0%	100.0%	133.3%

※2024年度は11月現在

「人事部内に担当窓口の設置」、
「育児支援ハンドブック」、「事例の紹介」
などを活用し、本人だけではなく上長に向けた
積極的な働きかけ、理解促進を行い取得促進
を行っている。

2025年4月に施行される育児・介護休業法
改正に合わせて、更なる施策を検討。
2025年4月から始まる「次世代育成行動計
画」に織り込んでいく予定。



育児・介護でございます。育児や介護と仕事の両立を支援するために、法定を上回る支援制度を設けております。この部分が法定を超える部分でございます。特に男性の育休にはこの間力を入れてまいりまして、2021年度では25%程度でございましたけれど、取り組みを進めまして、22年度は107%、23年度は64%と若干落ち込んだんですが、年度内に休暇を取れない社員がおりまして、24年度上期は112%まで回復しております。

育児支援ハンドブックであるとか、事例の紹介集なども活用して、本人だけではなく、上長にも働きかけをしております。早めに休暇の計画を出していただいて、人事、本人、上司と調整しながら、できる限り休暇を取れるように進めておるところでございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

- ・健康経営の推進
健康経営優良法人
- ・メンタルヘルス対策

2021年8月 健康経営宣言を社長名で発出

健康経営企業内推進体制と役割を明確化し、従業員の健康管理と健康増進施策を整備、当社独自の健康保険組合の「データヘルス計画」に基づく事業と会社とコラボレーションし、継続的に推進している。



◆健康経営優良法人 認定と健康経営度調査フィードバック結果推移

	2021年	2022年	2023年	2024年
優良法人認定(大規模法人)	不認定	認定	認定	認定
総合順位	1,801~1,900位/2,523社	1,301~1,350位/2,869社	1,051~1,100位/3,169社	901~950社/3,520社
総合評価	43.6	52.0	54.8	56.9

© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 43

健康経営にも留意しているところでございます。2021年、健康経営宣言を社長名で発出いたしまして取り組みを進めております。健保組合とも事業をコラボいたしまして、継続的に施策を展開しております。健康経営優良法人も2022年に初めて認定いたしまして、総合順位、総合評価とも毎年向上をさせてきておるところでございます。

- ・健康経営の推進
健康経営優良法人
- ・メンタルヘルス対策

◆保険事業

- ・オンライン卒煙プログラム(2023年度6名完全卒煙に成功、2名卒煙取組中)
- ・プチッと健康セミナー(血糖値測定による生活習慣改善プログラム)
- ・郵送歯科検診ペリチェック(昨年度申込数79名)
- ・あるくと(ウォーキングアプリ、Webイベント開催)
- ・健康セミナー開催(各種年次研修等における健康セミナー導入)

◆メンタルヘルス対策

早期に自身のメンタルヘルス不調に気づくための対策として、年1回のストレスチェックを実施。全社的な取り組みとして、安全衛生管理計画の衛生目標に設定して取り組んでいる。情報提供を行うとともにメンタルヘルス不調に対し、産業医を中心に産業保健スタッフによる相談体制を整備し、就労支援のサポートを行い、病気療養・休職した社員がスムーズに職場復帰できるよう、職場復帰支援プログラムを作成し、柔軟な対応を行っている。

© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 44

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

実際、保険事業、コラボの中身は特徴あるいろんな取り組みを、健康保険組合も進めておるところでございます。メンタルヘルス対策もしっかりと進めております。

ウェルビーイング・エンゲージメントの追求



・2023年度からストレスチェックと併せて、「エンゲージメント測定」を開始しました。

回答状況

実施期間 2024年07月02日 ~ 2024年07月23日

回答率

	今回	前回
回答率	95.6 %	94.8 %
分析人数	885 人	900 人
調査対象人数	925 人	949 人

貴社全体結果	
ワークエンゲージメント	
今回	50.6
前回	50.4

◆エンゲージメント向上施策(実施中)

- ・人事評価・面談の活性化
- ・ガバナンス研修(人的資本経営など)
- ・コンプライアンス研修(働き方改革、ハラスメントなど)
- ・世代間ギャップ研修
- ・OJT(エルダー)制度

アドバンテッジリスクマネジメント社の「アドバンテッジタフネス」調査

性別、年代等の属性別や上位・下位組織については、「属性別結果」「組織別結果」から課題を分析し、課題に対する施策推進のPDCAサイクルを確立していく。

© Copyright Fudo Tetra Corporation All rights reserved. 45

ウェルビーイング・エンゲージメントの追求ということで、2023年度から、前年度からストレスチェックと併せて、エンゲージメントの測定を開始しております。2カ年続けてやったわけでございます。今年度は、24年7月から始めたわけでございますが、回答率が95.6%と、前期に比べますと少し向上しておるわけでございます。そのワークエンゲージメントの点数でございますけれども、前回の50.4が、若干でございますけど今回は50.6という、若干の向上というところでございます。

エンゲージメントにつきましては、社員の仕事の質とか生産性にも大きく関わりますし、ウェルビーイング上も非常に大切だということで、会社はこの点、今後も継続的に取り組みを強化していきたいと思っています。現在、エンゲージメント向上策としては、ここに記載のような施策を現状今行っております。例えば世代間ギャップ研修とかを現場の所長に行うことなどもしております。

今後、この2カ年の結果を踏まえまして、属性別の結果、組織別の結果から分析評価をいたしまして、今後も施策を検討した上でこれを展開していきたいと考えておるところでございます。

以上をもちまして、人的資本の説明、私からの説明は終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

司会：ご説明ありがとうございました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



質疑応答

司会 [M]：それでは、ご案内のとおり、まず会場の皆様からのご質問をお受けいたします。

なお、この IR ミーティングは質疑応答部分も含め、全文を書き起こして公開する予定です。ご質問の際、会社名、氏名を名乗られますとそのまま公開されますので、この点をご了解ください。

それでは、ご質問のある方は挙手を願います。係がマイクをお持ちいたします。

質問者 [Q]：すみません。設備投資のところですけども。かなり積極的に投資を始められているというか、タイミング的にもそういうタイミングなんだろうと思うんですけど。

24 年度で、上期 36 億円、通期でどれぐらいになるかということと、せっかく戦略投資とかを含めて 150 億円とか 200 億円というようなアロケーションのイメージを出されているんですけど、来期、来々期の今の現時点での見通しとか、あるいは少し償却がどういう形で落ち着いていくのかというところを教えていただけたらと思います。

奥田 [A]：ご質問いただきまして、ありがとうございます。投資の状況ということで、24 年度、通期でというお話です。お手元の資料に通期の見通しの設備投資のところ、36 億 7,000 万円という現状見通しをしております。

質問者 [Q]：通期じゃなく上期ですね。

奥田 [A]：そうですね。上期で 36 億 7,000 万円という結果が出ております。通期では、多分これの倍ぐらいは行くかなという見通しをしております。ただ、機械的な投資については、機械といいますか、船舶とか、今度センターにも投資をしますけども、そういった投資についてはほぼ見通しを立てながら計画的に実施をしております。

ただ、それ以外に、どうしても長い目で見たときにやらざるを得ない戦略的な投資というのは、やはりその都度計上してまいりますので、現状としてはその辺は加味をしていないとご理解をいただければと思っております。

質問者 [Q]：[音声不明瞭]。

奥田 [A]：80 億円ぐらいにはなるのではないかという見通しです。

質問者 [Q]：来期以降は、そうすると少し水準的には下がるんですか。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



奥田 [A]：はい。来期以降は船舶への投資も、現在、土木の船を、浚渫船を投資しておりますけれども、これもほぼ今期、来期の初めには完成をいたしますので、そういった意味では大きなそういう投資は今期がメインになってくるかなという気がしております。

ですので、来期は多分今考えている投資として大きいのは、大阪の機械センターを耐震化、あるいは更新してまいりますので、そこへの投資が大きいかなと。あと、戦略的に地盤改良の施工機等に投資をしておりますので、それについてはある程度の計画をしております。

多分現状で計画していますのは、はっきりしていますのは20億円弱ぐらいまで落ちると思っております。

質問者 [Q]：ありがとうございます。償却というのは、来期が結構増えるんですか。まだ増えないんですか。

奥田 [A]：いや、船舶の場合は、前の3カ年が大きくなりますね。あとは6年とか10年とか、当然下がりながら償却が発生していくとお考えいただければありがたいです。ですので、来期、再来期と償却が増えてまいります。

質問者 [Q]：分かりました。ありがとうございます。あと、せっかく人的資本経営のところですけど。私、不勉強で申し訳ないんですが、35ページの表のところの新卒採用、中途採用って人数が括弧書きにしてあって、上に数字が出ているんですけど、ここの数字って何の数字ですか。

川地 [A]：これは採用した方たちの人件費でございます。追加してまいりますので、累計額で10億円という計画を立てているということでございます。

質問者 [Q]：その期に支払う人件費というわけではないんですか。というのは、この中途採用のところを見ても、16人を3億9,300万円とかで割ると二千数百万円という金額が出てきます。

川地 [A]：今申しましたとおり、24年、23年、26年という形で、累計の額を書いておりますので。

質問者 [Q]：分かりました。そうすると、下に書いてある人材育成とか処遇改善とかというのは、これは単年度の金額が書いてあるということですね。

川地 [A]：そうです。

質問者 [M]：ありがとうございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

司会 [M]：他にご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。それでは、オンラインからのご質問が一つ来ておりますので、お願いいたします。

質問者 [Q]：現中計においては、事業ポートフォリオの最適化を進めるとされ、ROIC等の活用がうたわれています。経営資源の配分や業績評価の方法がどう具体的に変わったのかご説明いただけますか。

奥田 [A]：まず、やはり成長する、要するに成長できる事業領域への、当然われわれが持っています資源の配分ということが一番大きなウエートを占めると思います。これは投資という意味での設備、技術への投資もそうですし、人的な配置もそうでございます。そういったものを、まず3カ年を見通して、その事業がどれだけ成長できるかということを見た段階での配分、あるいは重点的な施策の実施を行うということにしております。

評価につきましては、もちろん今までも当然、各事業の結果、見通し結果について、目標達成について評価をしてきておりますので、それについては変わらないような形で実施していくということにしております。

具体的にこうというのが、なかなか現時点でお話しするのは、まだ控えなければいけないこともありますので、現状では今のご回答でご勘弁できればと思います。

司会 [M]：ありがとうございました。それでは、他にご質問のある方、会場の皆様、あるいはオンラインの方、いらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ご質問もないようですので、以上をもちまして、株式会社不動テトラ様のIRミーティングを終了いたします。

奥田様、川地様、北垣様、ありがとうございました。

奥田 [M]：ありがとうございました。

司会 [M]：また、会場の皆様、オンラインの皆様、本日はご参加いただき、誠にありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載
2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

